

1. 日時・場所：2020年 ○月 ○日 ○曜日 第○限 (○○教室)
2. 対 象：4年 ○組 (○○名)
3. 題 材：子どもの遊びと心身の発達～ふれあい体験学習を通して～
4. 題材について

4.1 題材観

現代は、少子化や家族の形態の変化、地域の子どもの交流機会の減少など、その他様々な要因に伴って子どもに接する機会が少なくなっている。これから親となったり、子どもをはぐくむ社会の一員となったりする前に、子どもと子どもを育てる親や社会への理解を深めることは不可欠である。

加えて、教育の低年齢化などから乳幼児期に充分遊ぶことができずに成長してしまい、社会生活を送る上で様々な困難にぶつかっているおともも多いという現状のなかで、乳幼児期の遊びの重要性や成長と発達とのかかわりについて理解を深め、親として、家族として、社会の一員としての役割を理解して、次世代を担う子どもとどのようにかかわったらよいかを学ぶことを目的として、本題材を設定した。

4.2 生徒観

当校から進学した生徒は、中学時代に保育分野の学習はしていない。他の中学校から入学した生徒の殆どは当分野を学習していることが期待される。なかには、保育施設などを訪問したことのある生徒がわずかながらいるようではあるが、その実態は様々である。加えて、家族の中では兄弟姉妹の人数が少なくなっており、殆どの生徒が乳幼児と接した経験を有していない。このような現状から乳幼児に関する知識は殆ど無く、どのように成長していき、その過程でどのようなコミュニケーションをとるのかなど、乳幼児についてイメージすることも困難である。

4.3 指導観

乳幼児と接した経験がほとんどない生徒たちのために、映像を通して乳幼児の発達やあそびの様子を見せたり、こども園を訪問して直接乳幼児と触れあう機会を設けたりなど、乳幼児と接することの楽しさや乳幼児を愛おしいと思う気持ちを実感させたい。これらの授業を通して生徒の知識面とともに情意面の変容をはかっていきたい。また、絵本とおもちゃの製作及びそれらを用いてのふれあい体験学習を同じグループ単位で活動させることにより、「能動性」・「独自性」を発揮しながらの「協働」の場を設け、最適解を求めての合意形成を可能とするような授業にしていきたい。

5. 題材の目標

- 5.1 乳幼児の遊びに関して現状を知らせ、どのような課題があるのかを理解し、自分たちが現在、あるいは次世代を生み育てる側の視点に立って、関わり方を理解する。
- 5.2 社会性の育成や諸機能の発達など様々な観点から、遊びは乳幼児の心身の発達に大きな役割を担うことを認識する。
- 5.3 こども園でのふれあい体験学習を通して、今までの「育てられてきた自分」を客観的に見ることができるようになり、「育てられてきた自分」を振り返り、これからの「育てる自分」を想像

する。

5.4 こども園でのふれあい体験学習を通して、乳幼児がどのような遊びをしているのかを実際に観察し一緒に遊ぶことで、乳幼児が遊びを楽しんでいる様子や全力で遊んでいる様子を視て、遊びを通して成長していくことを実感する。

5.5 どのようなおもちゃが乳幼児の遊びを助長させるために適しているのかを理解し、製作する。

5.6 絵本が乳幼児の様々な面の発達に重要であることを理解し、発達段階に応じてどのような絵本がふさわしいのかを考えながら絵本を作る。

6. 題材の評価基準

観点	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
題材の評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児の遊びや心身の発達に関して、生活の主体者として必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身につけている。 乳幼児とのふれあい体験学習や、絵本やおもちゃの製作を通して、乳幼児とのかかわり方について考え実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児の遊びや心身の発達に関して、家族や社会の役割について考え、課題をみつけ、その解決を目指して思考を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児の遊びや心身の発達に関心を持ち、「育てる自分」としての視点をもって意欲的に学習活動に取り組んでいる。 グループ活動において、「能動性」・「独自性」を發揮しながら、最適解を求めて合意形成を前進させることができている。
学習活動における具体的評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 子どもの発達には、個人差や一定の方向性や順序があることを理解している。 遊びが子どもの生活において重要であり、遊びを通して心身の発達が促されること、健康管理と安全への配慮などについて理解している。 乳幼児の遊びを助長するおもちゃや絵本の条件を理解している。 乳幼児の発達段階に応じて、色や文字の大きさなど乳幼児に適した絵本を作ることができる。 保育の第一義的な責任は親にあるが、子どもや子育て家庭を支える社会の支援が重要であることを理解している。 実践的・体験的な学習活動を通して、安全やマナーに留意し乳幼児と適切に関わるための基礎的スキルを身につけている。 	<ol style="list-style-type: none"> 子どもを生き育てることの意義や地域の一員として子どもの成長に関わることの意味について考えることができている。 子どもの育つ環境にどのような課題があるかを考え、子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察できている。 乳幼児の遊びの現状からどのような課題があるのかを考え、課題解決のために自分にはどのようなことができるのかを見つけている。 どのようなおもちゃや絵本が乳幼児の発達を助長するのかを考えている。 	<ol style="list-style-type: none"> 乳幼児の遊びの現状に関心を持ちどのような特徴があるのかを理解しようとしている。 乳幼児との交流に関心を持ち、乳幼児と積極的に関わっている。 乳幼児のおもちゃや絵本に関心を持ち、乳幼児に適したおもちゃや絵本を意欲的に製作している。 グループ活動において積極的な態度で質の高いコミュニケーションをとりながら協働している。

7. 指導と評価の計画

時間	各時間の目標	学習活動	評価活動における具体的評価基準との関連及び評価方法
1	乳幼児の遊びの現状を知り、どのような課題があるのかを理解し、課題解決のために自分はどうにか関わることができるのかを考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の生活時間から乳幼児の生活の中心は遊びであることを理解する。 ・ 遊びを通して乳幼児のどのような側面が発達するのかを話し合う。 ・ 乳幼児の遊びの現状を理解し、そこにはどんな課題があるのかを見つける。 ・ 現在あるいは将来、自分は乳幼児の遊びを助長させるためにどのように関わっていくとよいのかを考える。 	<p>「知識・技能」 ①, ②, ⑤ 「思考・判断・表現」 ①, ②, ③ 「主体的に学習に取り組む態度」 ①, ④</p> <p><行動の観察・発表内容による評価・ワークシートの記述内容の点検></p>
2	乳幼児の遊びを助長するおもちゃの条件や、心身の発達段階と絵本の内容の関係性を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ おもちゃや絵本の実物にふれて、それぞれ年齢ごとの特徴を考える。 ・ 乳幼児の遊びや心身の成長を助長させるおもちゃや絵本の条件について話し合う。 	<p>「知識・技能」 ①, ②, ③ 「思考・判断・表現」 ①, ④ 「主体的に学習に取り組む態度」 ①, ④</p> <p><行動の観察・ワークシートの記述内容の点検></p>
3～7	乳幼児の心身の発達に大きく影響することを理解し、それぞれの年齢に適したおもちゃや絵本を製作することができる。能動性・独自性を発揮しながら協働することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループに分かれて、ふれあい体験学習を行う対象年齢に応じたおもちゃと絵本の製作計画を立てる。 ・ どのようなおもちゃや絵本が乳幼児の発達を助長するのかを考え、色や文字の大きさなど、乳幼児の発達段階に応じて製作をする。 ・ 製作したおもちゃと絵本をクラス内でプレゼンテーションを行い共有する。 	<p>「知識・技能」 ①, ②, ③, ④ 「思考・判断・表現」 ②, ②, ③, ④ 「主体的に学習に取り組む態度」 ①, ③, ④</p> <p><行動の観察・発表内容による評価・ワークシートの記述内容の点検></p>
8	こども園を訪問する目的・留意点を考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ こども園の概要と社会的な役割について理解する。 ・ 自分はどういう目的を持って訪問したいのかを考える。 ・ 園児と接するときどんなことに注意して行動すべきかを話し合う。 	<p>「知識・技能」 ⑤, ⑥ 「思考・判断・表現」 ①, ②, ③ 「主体的に学習に取り組む態度」 ①</p> <p><ワークシートの記述内容の点検></p>
9, 10	こども園を訪問し、乳幼児に関心を持って、乳幼児と積極的に関わることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全やマナーに気をつけて乳幼児とふれあう。(製作したおもちゃやで遊ぶ、製作した絵本を読む、自由遊びを一緒にする、粘度遊びや歌を歌う、保育活動に参加する、など) 	<p>「知識・技能」 ①, ②, ③, ⑤, ⑥ 「思考・判断・表現」 ①, ②, ③, ④ 「主体的に学習に取り組む態度」 ①, ②, ④</p> <p><行動の観察></p>

12	こども園でのふれあい体験学習を通して、今までの「育てられてきた自分」を客観的に見ることができるようになり、「育てられてきた自分」を振り返り、これからの「育てる自分」を想像する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問した記録をまとめる。(園児の様子や感想, など) ・ グループ内で記録を共有し, クラス内で発表する。 ・ ワークシートをまとめる。 	「知識・技能」 ⑤, ⑥ 「思考・判断・表現」 ①, ②, ③ 「主体的に学習に取り組む態度」 ①, ④ <行動の観察・発表内容による評価・ワークシートの記述内容の点検>
----	--	--	---

8. 本時

8.1 目標 (第1時)

- ① 乳幼児にとっての遊びの意義や重要性, 及び発達段階によってそれらが変化することを理解する。
- ② 現代の乳幼児の遊びの現状と課題について認識し, 親 (おとな) としての役割や社会の責任について考える。

8.2 評価基準及び評価方法

- 「知識・技能」
 - ① 遊びは乳幼児の心身の発達にとっても重要な働きをしていることを理解している。
(発表内容による評価・ワークシートの記述内容の点検)
- 「思考・判断・表現」
 - ① 乳幼児の遊びの現状からどのような課題があるのかを考え, 課題解決のために自分にはどのようなことができるのかを見つけている。
(発表内容による評価・ワークシートの記述内容の点検)
- 「主体的に学習に取り組む態度」
 - ① 乳幼児の遊びの現状に関心を持ちどのような特徴があるのかを理解しようとしている。
(行動の観察)
 - ② 乳幼児の発達と遊びとの関わりについてのグループ活動において, 積極的な態度で質の高いコミュニケーションをとりながら協働している。(行動の観察)

8.3 準備物

生徒 教科書, 資料集, ワークシート

教師 教科書, ノート, ワークシート, PC, プロジェクター

8.4 学習指導展開計画

時間	学習活動	指導上の留意点	評価の実際・教師の手立て
7	乳幼児の生活時間から乳幼児の生活の中心が遊びであることに気づく。	自分たちの遊びと乳幼児の遊びの目的は同じかどうかを考えさせ, 乳幼児にとっ	「主体的に学習に取り組む態度」① <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児の遊びに関心を持っているかどうかを, 行動を観察し評価する。 ○ Cの生徒への手だての例

		<p>での遊びは特別なものであることに気づかせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関心を持ってない生徒には、保育人形を抱かせたり、乳幼児が遊んでいる様子をビデオや写真で見せてイメージを持たせたり、自分は子どもの頃や現在どんな遊びをしていたのかなど身近な問いを投げかけて興味を持たせたりする。
17	<p>遊びを通して、乳幼児のどのような側面が発達するのかを話し合う。乳幼児の心身の発達のためには、個性に応じることや、自主性を大切にしながら遊ばせてやることを理解する。</p>	<p>遊びは発達する側面ごとに分類されることを示して理解を深める。乳幼児の遊びの重要性について書いてある資料を示す。</p>	<p>「知識・技能」①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びは乳幼児の心身の発達にとっても重要な働きをしていることを理解しているかどうかをワークシートの記述内容を点検することで評価する。 <p>「主体的に学習に取り組む態度」②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ活動において積極的な態度で質の高いコミュニケーションをとりながら協働しているかを、行動を観察し評価する。 <p>○ Cの生徒への手だての例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びと心身の発達を関連づけられない生徒には乳幼児の心身の発達と遊びの関わりや資料の内容を再度説明する。
18	<p>2人の幼児の遊びの様子を比較することで、乳幼児の遊びに関する問題点を見つける。</p>	<p>問題点がわかりやすい資料を示す。</p>	<p>「思考・判断・表現」①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児の遊びの現状からどのような課題があるのかを考え、解決策を見つけているかどうかをワークシートの記述内容を点検することで評価する。
8	<p>現在あるいは将来、自分は子どもの遊びを助長するためにどんなことができるのかを考える。</p> <p>クラス内で共有する。</p>	<p>本時のまとめとして全体を振り返らせながら、自分の考えをまとめさせる。</p>	<p>○ Cの生徒への手だての例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 解決策をまとめられない生徒には、クラスメイトの意見を参考にまとめさせる。

8.5 板書
省略